

建設技術展等の開催報告

建設技術公開「EE東北'16」開催される ～広げよう新技術つなげよう未来へ～

EE東北実行委員会事務局

建設事業の新材料，新工法，その他時代のニーズに対応し開発された新技術を公開する「EE東北'16」が，平成28年6月1日（水），2日（木）夢メッセみやぎにて開催されました。

EE東北は，建設事業に係わる新工法，新材料，その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し，その普及を図ることにより，新たな技術開発の促進と良質な社会資本の整備を通じて社会に寄与することを目的として，1990年から開催している展示会で，今回で26回目となります（EEとは英語のEngineering Exhibitionの略です）。

復興を加速化する新技術や国土交通省が推進する建設現場の生産性を向上させる取組み「i-Construction（アイ・コンストラクション）」の対象技術など，様々な新技術が832技術（出展者数304社）展示されました。

また近年普及が進む「UAV（ドローン）」による競技会も同時開催し，2日間で過去最高の1万4,200人の方が来場しました。

1. EE東北'16 実施内容

今回も非常に多くの関係企業・団体等に参加をいただき，屋内・屋外とも展示場一杯の展示会となりました。

展示場内では，「復旧・復興」「維持管理・予防保全」「防災・安全」などの6つの技術分野ごとに，

出展者によるブースを設置して，新技術に関するパネルや映像を交えた展示のほか，出展技術である重機や建設資材，模型を交えて，訪れた方々に新技術を見て，聞いて，触れていただきました。

開催のスケジュール，各技術分野ごとの出展技術数は，以下のとおりです。

表-1 開催スケジュール

内容	開催日
開会式 ・開会宣言，主催者あいさつ， 来賓祝辞，テープカット	6月1日（水）
新技術展示会 ・出展者数 304社 ・出展技術数 832技術	6月1日（水）
	6月2日（木）
新技術プレゼンテーション ・52題	6月1日（水）
	6月2日（木）
UAV（ドローン）競技会 ・総合技術部門6チーム ・一般参加部門5チーム	6月2日（木）
特設コーナー ・i-Construction説明パネル展示 ・TEC-FORCE活動パネル展示 ・（復興道路）10の技術パネル展示 ・高校生が製作した橋梁模型展示 ・学生向け出展企業紹介コーナー	6月1日（水）
	6月2日（木）

表-2 技術分野別出展者数，技術数

技術分野	EE16	
	出展者数	技術数
(A) 復旧・復興に関する技術分野	57	145
(B) 施工段階の技術分野	57	147
(C) 維持管理・予防保全の技術分野	102	279
(D) 建設副産物・リサイクル等の技術分野	13	33
(E) 防災・安全等の技術分野	57	168
(F) その他共通の技術分野	18	60
計	304	832

2. 開催状況

(1) 開会式

26回目の開催となる「EE東北'16」は、6月1

日10時にEE東北実行委員長の開会宣言，構成団体代表15名によるテープカットにより開幕しました。



写真－1 開会式テープカット

(2) 展示会場

屋内展示場では、復旧・復興に関する技術をはじめ、施工段階技術，維持管理・予防保全技術等の6つの技術分野に区分し展示されました。また、国土交通省が生産性向上へ向けて推奨する「i-Construction」の中核となるICT技術を活用した新たな建設技術や測量・設計段階から情報化施工を取り入れた最新技術など、出展者ブースでは、紹介映像やパネル展示のほか、重機や建設資

材，模型など工夫を凝らした展示がなされました。

屋外展示場では、大型の機械，製品などの展示や実演により，新技術を実物により体感していただきました。

展示場内は，学生や一般，地方公共団体，建設事業の関係者等，多くの人で賑わい，各展示ブースにおいて，来場者が足を止め熱心に説明を受けている姿が見受けられました。



写真－2 屋内展示場の様子



写真－3 屋外展示場の様子

(3) 新技術プレゼンテーション

屋内展示場内の特設ステージでは、出展技術についてより理解していただくための新技術プレゼンテーションを行いました。「復旧・復興」「施工



写真-4 熱心に聞き入る聴講者

段階」「維持管理・予防保全」「防災・安全」「建設副産物・その他」の5つのテーマで52技術が出展者から紹介され、2日間で約4,000人の方々に聴講していただきました。



写真-5 聴講席は満席，立ち見も発生

(4) 特設コーナー

館内コンコースには大学研究室の招待ブースの他、特設コーナーとして、国土交通省TEC-FORCEの活動紹介、インフラストック効果及びi-Construction説明パネルの展示や、高校生による橋梁模型作品発表会の入賞模型作品の展示が行

われました。

また、学生向けの出展企業紹介コーナーとして、各社リクルートパンフレットを設置しました。

多種多様な展示内容に、来場者の好評を得ていました。

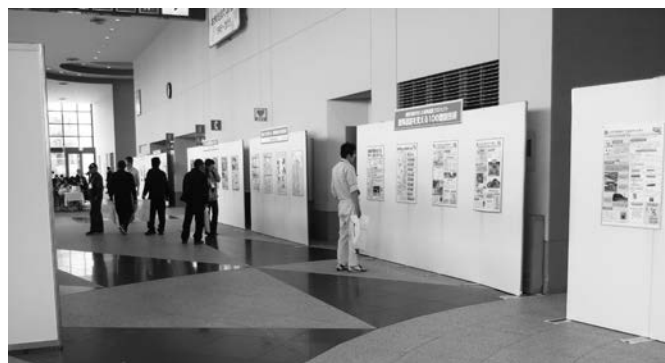


写真-6 館内コンコース内 パネル展示状況



写真-7 TEC-FORCE活動パネル展示



写真-8 大学研究室の招待ブースの状況



写真-9 高校生製作の橋梁模型展示



写真-10 出展企業紹介コーナーの状況

(5) UAV (ドローン) 競技会

近年、空撮や測量などの分野におけるUAV(ドローン)活用が普及していることから、建設事業におけるUAV技術の利活用と、さらなる技術開発の促進を目指し開催しました。



写真-11 UAV (ドローン) 競技
総合技術部門の様子

UAV技術は、「i-Construction」技術の1つでもあり、本競技会には延べ1,800人が見学に訪れ、注目度の高さが伺えました。

空撮技術や計測技術の競技を通じて、ますますの技術力向上が期待されます。

競技は2部門で行われ、EE東北'16への出展者を対象に、橋脚を模した構造物に予め施しておいた破損した箇所やクラック等を計測し、その精度を競う「総合技術部門」と、応募により誰でも参加可能な、UAVの操縦技術と指定されたターゲットを撮影する空撮技術を競う「一般参加部門」で実施しました。

競技の結果、優勝は、総合技術部門「パシフィックコンサルタンツ・計測リサーチコンサルタント(宮城県)」、一般参加部門「パナックス・ジャパン(宮城県)」となりました。



写真-12 総合技術部門優勝者の表彰



写真-13 UAV (ドローン) 競技
一般参加部門の様子



写真-14 一般参加部門優勝者の表彰



写真-15 参加者との記念撮影

3. おわりに

EE東北は、新技術を積極的に情報発信し、新技術を提供する人とそれを必要とする人との良い出会いや交流する場となり、ここで公開された新技術が多くの現場で活用されること、

「i-Construction」の推進により、東北の復興加速とさらなる発展へつながることを期待しています。

また、次回のEE東北'17も平成29年6月7日、8日に今回の会場と同じ「夢メッセみやぎ」において開催されます。多くの方々の来場をお待ちしています。